

博物館だより



高岡開町400年記念

たかおか歴史探検隊！「きみも1日学芸員になってみよう」

当館では、平成21年8月20日に、高岡開町400年記念として、たかおか歴史探検隊！「きみも1日学芸員になってみよう」を開催しました。

これは博物館に親しみ、郷土高岡の歴史や文化に興味関心をもってもらおうと今年初めて企画したもので、小学校4～6年生の児童4名が参加しました。

当館学芸員とともに、実際に書や日本画などの美術資料や木製電気炊飯器や陶製湯たんぼなどの民俗資料(生活道具)などの寸法を測り、記録写真を撮影するなどの資料調査を行ないました。このほか、高岡古城公園の散策や切り紙ワークショップなども行ないました。



利長くん

館蔵品展「新資料展」

会期：平成22年2月6日(土)～5月9日(日)

博物館の重要な役割は、資料の「調査・研究」、「展示」、「教育普及活動」などが挙げられます。博物館では、「資料」を寄贈・購入・寄託などの方法により収集し、調査・整理して、日頃からその保存管理に努めています。ちなみに当館でいう「資料」とは、高岡を中心とした郷土の歴史・文化を語るうえで欠かせない貴重な文化財のことです。

博物館は郷土の歴史・文化の継承・発展のために日々活動を続けています。それは貴重な資料を当館へ寄贈（寄託）してくださる皆様のご協力があってはじめて成り立つことです。本展に出品した貴重な資料をご寄贈賜りました皆様には、ここに改めて厚くお礼を申し上げます。

本展では、これら年々多く収集される資料のうち、近年新たに収集した資料や未公開の資料を展示・紹介いたします。ここではそのうちの幾つかを紹介いたします。

歴史資料では、加賀藩銭札（杉本宏氏寄贈）を紹介いたします。これは加賀藩が幕末から明治初期に領内に流通させていた紙幣（藩札）です。明治4年（1871）に藩札は通用禁止となり、同12年までに回収が行なわれました。このほか、鋳物師職許状（藤田佐一氏寄贈）や高岡市街鳥瞰図リーフレット（古谷昭史氏寄贈）、明治から昭和期の高岡古城公園や高岡市内の様子がわかる絵葉書などを展示します。



加賀藩銭札 幕末～明治初期



鋳物師職許状 弘化4年(1847)



高岡名勝絵葉書「桜馬場ノ春色」 明治～昭和期

民俗資料では、16mm映画フィルム「輝く孝道」を紹介いたします。これは江戸時代中期の高岡の孝行人で「孝子六兵衛」として知られる石瀬屋六兵衛（1755～89）を題材にして昭和10年（1935）に高岡市民（頌孝会）によって製作された映画です。これまで長らくフィルムが所在不明で「幻の映画」となっていたのですが、昨年8月に高岡関野神社でフィルムが発見され当館へ寄贈されました。このフィルムには六兵衛の孝行ぶりとともに、ロケ地となった高岡古城公園など当時の市内の様子や、市民の服装など当時の風俗が見てとれる貴重な映像が収録されています（本編78分・メイキング6分）。このほか、日本帝国海外旅券章（和田博司氏寄贈）やカンカン輦（戸田清氏寄贈）などを展示します。



16mmフィルム「輝く孝道」 昭和10年(1935)

産業資料では、塩崎製銅製花瓶（織田睦夫氏寄贈）を紹介いたします。本資料は、昭和10年（1935）4月に銅器問屋・塩崎利平（現・塩崎商街株式会社）の製品で、上部帯内に樹・楯・徳・鳳凰の模様が鋳出されています。塩崎は享保年間（1716～35）の創業で、5代目利平（1856～1918）は銅器商として活躍し、銅器の海外輸出や国内外の博覧会等への出品・受賞を通じて、高岡銅器業界に大きな功績を残しました。このほか、細野萩月作「花鳥文巻煙草人」、銀線象嵌銅銅花瓶（荒木芳子氏寄贈）などを展示します。



刀 折返銘「國長」(宇多) 永享期(1429～41)

美術資料では、刀 折返銘「國長」(宇多)（山田館夫氏寄贈）を紹介いたします。本資料は永享期（1429～41）に刀工・宇多國長によって作られた刀で、刀身を茎尻より切り縮める「磨上げ」の際、銘が消えるのを惜しみ裏側に折り曲げて銘を残しています。宇多派は、鎌倉末期に大和国（現・奈良県）宇陀郡より越中国吉岡荘三日市（現・高岡市福岡町）に移住した刀工集団で、切れ味のよい実戦刀を専門に製作しました。このほか、中島秋圃筆「松に雀図屏風」、後井竹の門筆「桔梗」（ともに織田幸銅器寄贈）、堀川敬周画・大窪詩弘賛「寿老人図」（浅井嵩氏寄贈）などを展示します。

このほかにも数多くの貴重な新資料を展示・紹介いたします。

■高岡市街(名木七本杉通り)絵葉書

明治～大正後期
棚田書房発行
縦8.9cm×横14.0cm
平成19年収蔵



高岡市末広町通りの様子がうかがえる写真絵葉書。道路の右側には和洋菓子店の看板など何軒かの商店が軒を連ね、写真中央には七本杉が立っている。

七本杉は樹齢千数百余年、高さ・47m、周囲・18mの巨木であった。欽明天皇（531～562）の頃に植えられたものとされ、根元から七本の枝が天に向かって伸びていたため「七本杉」とよばれた。

明治31年（1898）には高岡駅（当時は射水郡下関村）が新設され、現在の高岡駅前末広通りは交通の要路となっていくが、この七本杉によって交通妨害などを引き起こしたため、昭和2年（1927）11月18日に伐採された。

◆新収蔵資料紹介(平成22年1月31日現在)

・購入(25件59点)

No.	資料名称	数量	分類
1.	富山県高岡市 日本工業黎明期之内(真・委工業内 昭和28年)	1	歴史
2.	「高岡市勢要覧」(高岡市街図付 昭和11年)	1	歴史
3.	「金楳」(後井竹の門筆)	1	美術
4.	瑞龍寺十七世天外大亮遺相(土佐光学筆)	1	美術
5.	絵葉書「高岡桜馬場公園」	1	歴史
6.	絵葉書「高岡公園中之島ノ春色」(古城公園の題端など)	6	歴史
7.	「越中国高岡商業学校運動会」(印刷物)	1	歴史
8.	絵葉書「高岡延寿寺玄關」(高岡市前田利長公卿廟所など)	3	歴史
9.	絵葉書「桜馬場ノ春色」(古城公園ノ燕子花など)	10	歴史
10.	絵葉書「高岡古城公園」(古国府 藤興寺本堂など)	8	歴史
11.	「高岡博覧会場案内図」(昭和26年)	1	歴史
12.	「高岡産業博覧会 興山製銅製銅器出品目録」(昭和26年)	1	歴史
13.	絵葉書「越中ことば」と高岡公園塗染の桜	1	歴史
14.	高岡名勝絵葉書「射水神社」	1	歴史
15.	絵葉書「越中伏木海岸義経御所」(越中伏木町全貌)	2	歴史
16.	絵葉書「高岡ノ春色」(越中関野神社境内 興山製銅製銅器出品目録)	2	歴史
17.	「風俗画報」(東陽堂発行)	7	歴史
18.	大日本管轄分地図「富山県管内全図」(明治28年)	1	歴史
19.	大日本管轄分地図「富山県管内全図」(明治33年)	1	歴史
20.	日本府県管内地図「富山県」(昭和9年)	1	歴史
21.	「富山市略図」	1	歴史
22.	「富山県勢要覧」(昭和14年)	1	歴史
23.	絵葉書「高岡市博愛小学校奉安式」	1	歴史
24.	伏木港関係絵葉書	3	歴史
25.	絵葉書「越中ことば」と義経の御所、大岩山六本流	2	歴史

・寄贈(61件2822点)

No.	資料名称	数量	分類	寄贈者
1.	小竹義造師出上品(土器破片、石鉢)	5	歴史	徳田三郎氏
2.	高岡御車山ミニチュア「二番町」	1	民俗	〃
3.	御寺角庵寺出上瓦(麻板瓦)	1	歴史	岡田亮一郎氏
4.	高岡関係絵葉書(繁久寺、前田利長公卿廟所など)	6	歴史	麻生春忠氏
5.	関野神社造営記念絵葉書	3	歴史	匿名希望
6.	高岡名勝絵葉書(アバノ丸越高岡店、高岡大仏、瑞龍寺)	3	歴史	〃
7.	高岡関係絵葉書「大・徳久寺 高岡市街全図」(高岡中学校など)	7	歴史	〃
8.	松板さ	6	民俗	〃
9.	レンタン(線炭)	2	民俗	〃
10.	NEC「PCエンジン」	1	民俗	文苑堂(ハンビ)
11.	任天堂「ファミリコンコンピューター」	2	民俗	〃
12.	高岡前田利長騎馬像(原型・米治一作)	1	美術	高岡市街
13.	東芝電気アイロン	1	民俗	印刷製本所
14.	チョウチン・チョウチンバコ	4	民俗	〃
15.	安全こたつ	1	民俗	〃
16.	コクツケガラ(用機輪)	1	民俗	〃
17.	ドウラン(劇乱)	1	民俗	〃

No.	資料名称	数量	分類	寄贈者
18.	セータ(背板)	2	民俗	行徳堂
19.	職写版(B4七葉書用)	2	民俗	〃
20.	サスマタ(刺枝/柄なし)	1	民俗	〃
21.	アカリ(扇取)	2	民俗	〃
22.	ジョレン(扇端)	2	民俗	〃
23.	ターフタキ(俵明き)	1	民俗	〃
24.	センバコキ(千歯抜)	1	民俗	〃
25.	クナカゴ(口籠)	1	民俗	〃
26.	漆製品製作道具	1	民俗	〃
27.	「桔梗」(後井竹の門筆/掛軸)	1	美術	織田幸銅器
28.	扇面合作「二見温泉にて、後井竹の門筆・富田漢西」	1	美術	〃
29.	「藝画についての意見」(島田園 後井竹の門筆、内島北朗宛)	1	美術	〃
30.	「松に雀図屏風」(中島秋圃筆、六曲一屏)	2	美術	〃
31.	刀 折返銘 國長(宇多)	1	美術	山田館夫氏
32.	携帯天幕	1	歴史	〃
33.	菊花紋章(川原小学校講堂掲示用)	1	歴史	本谷慶一氏
34.	高岡公園関係帳(7冊 明治36年～昭和14年)	1,319	歴史	市誌編纂部
35.	守越家資料(高岡中川原町の肥料商)	162	歴史	守越泰隆氏
36.	日本帝国海外旅券章(高岡市川原町・和田亀太郎、大正11年)	1	民俗	和田博司氏
37.	カンカン輦	1	民俗	戸田清氏
38.	手燭	2	民俗	高岡キナル
39.	マッチ箱ワッペル(高岡市内外商店)	1,133	歴史	兼澄雄氏
40.	大昔意家文書(高岡市二上)	80	歴史	大昔意氏
41.	高岡市街鳥瞰図リーフレット	1	歴史	古谷昭史氏
42.	加賀藩寺号帳(写)	1	歴史	〃
43.	日立テレビラジ(昭和43年頃、於・高岡ステーションアパート)	1	民俗	〃
44.	「乾漆三鳥手花生」(木村天紅作)	1	美術	〃
45.	「菊花図」(後々木泉山画・土山澤映賢)	1	美術	山井正樹氏
46.	高岡古城公園「朝陽の滝」設計図(昭和6年)	1	歴史	島田清心氏
47.	高岡市民体育館建設記念絵巻(昭和35年)	1	歴史	金井清治氏
48.	高岡市民会館建設記念絵巻(昭和41年)	1	歴史	〃
49.	加賀藩銭札(銭拾貫文)・太政官札(金壹両・2枚)	3	歴史	杉本宏氏
50.	宮野赤一郎各種封筒・証書類	18	歴史	宮野ふじみ氏
51.	新卒第九師団(師団記念品)金(2個) 多兵衛連隊(山崎物産)	4	歴史	織田睦夫氏
52.	「鉄道旅行案内」(鉄道省発行、大正13年)	1	歴史	〃
53.	梅文時絵巻草紙	3	民俗	〃
54.	アロアイノパイプ	1	民俗	〃
55.	塩崎製銅製花瓶(昭和10年)	1	産業	〃
56.	花鳥文巻煙草人(細野萩月作 1組、煙草入れと盆)	2	産業	〃
57.	高岡防衛副團長就任記念銅器電気スタンド(昭和26年)	1	産業	〃
58.	織製鳥置物(三代須賀松園作)	1	美術	〃
59.	百姓明禁札道具一式(幕末～明治後期) 6件	7	民俗	中田義昭氏
60.	鋳物師職許状(江戸後～末期)	5	歴史	藤田佐一氏
61.	改正地券(明治11年、石川県発行)	2	歴史	〃

※登録済資料のみ掲載。(登録期)

郷土の歴史資料などの情報を求めています

歴史資料や生活資料は、社会の変遷の足跡を理解する上での貴重な文化遺産です。当博物館では、古文書・生活資料などの収集保存を行い、調査研究・展示等に生かしたいと思っております。情報がありましたら、是非ご提供をお願いします。

平成22年度 高岡市立博物館 行事予定

イベントスケジュール	
展 示	イベント・講座
4月	4/1 常設展 「新資料展①」 10日 「松茸庵」 - 掛待合で抹茶を楽しみませんか①- 29日 ワークショップ 「切り紙で北前船をつくろう！」
5月	5/9 郷土学習講座① 「津幡屋と四兵衛と高岡御車山」 - 曳山騒動の原因と結果 -
6月	5日 郷土学習講座② 「孝子六兵衛」- 江戸期 高岡の孝子 -
7月	7/31 開館40周年記念 特別展 「心のふるさと 二上山」
8月	7日 宵闇に聞く高岡の怪談！ - 怪異譚のフォークローア - 21日 たかおか歴史探検隊！ 「きみも1日学芸員になってみよう」 25日 特別講演会 「二上射水神社文書から見えること」
9月	
10月	10/17 6日 「松茸庵」 - 掛待合で抹茶を楽しみませんか②- 27日 郷土学習講座③ 「高岡の伏客・大長について」 18日 郷土学習講座④ 「旅の人のモダンズム」 - 林忠正から吉田鉄郎まで - (仮)
11月	
12月	
1月	
2月	2/5 館蔵品展②
3月	

◆ワークショップ 「切り紙で北前船をつくろう！」

高岡市伏木は、古くから日本海沿岸屈指の港町として大いに栄えた地域です。みなさん1人ひとりが考える北前船を夢いっぱいを楽しみながら作ってみませんか。

- ・日 時 平成22年4月29日(木・祝)
- ・会 場 高岡市立博物館3階講堂
- ・講 師 飛見 立郎氏(高岡市立博物館協議会副会長)
- ・対 象 幼児・児童(幼児は親同伴)
- ・参加料 300円
- ・持ち物 はさみ、色鉛筆
- ・定 員 30名(申込順)



※お申込は4月6日より電話にて
受付します(電話0766-20-1572)

◆開館40周年記念 特別展「心のふるさと 二上山」

会 期 平成22年7月31日(土)～10月17日(日)[入館無料]

二上山は高岡市北方にある標高274mの山で、古来より信仰を集め、養老元年(717)に行基が山麓に二上神(射水神社)を祀る養老寺を建立したという伝承をもちます。越中国守・大伴家持はこの二上山を歌に詠み「万葉集」に収めており、また中世には山中に越中三大山城の一つに数えられる守山城が築かれ、麓には繁華な城下町が営まれ、越中の政治・経済の中心地となりました。また麓には二上射水神社や気多大社、国泰寺、越中国庁跡(勝興寺)・国分寺跡など多数の寺社や史跡が現存しており、豊かな歴史・文化を今に伝えています。

本展では、二上山に関わる古文書や絵図を中心に展示し、高岡市民の心のふるさと二上山のすがたを紹介します。

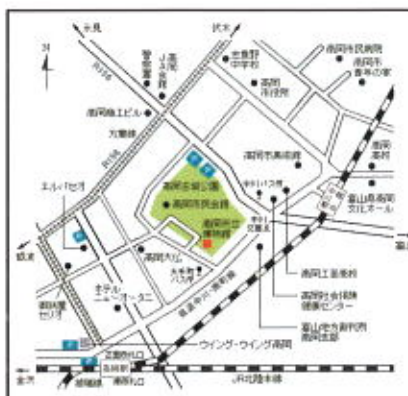


◆平成22年度 郷土学習講座 「人物にみる高岡の歴史」

1. 樽谷 雅好氏(高岡児童文化協会副会長)
・演 題 「津幡屋と四兵衛と高岡御車山」- 曳山騒動の原因と結果 -
・日 時 5月8日(土) 午後2時～3時30分
 2. 晒谷 和子氏(高岡市立博物館館長)
・演 題 「孝子六兵衛」- 江戸期 高岡の孝子 -
・日 時 6月5日(土) 午後2時～3時30分
 3. 浦田 正吉氏(越中史壇会会員)
・演 題 「高岡の伏客・大長について」(仮)
・日 時 11月27日(土) 午後2時～3時30分
 4. 藤井 素彦氏(高岡市美術館主任学芸員)
・演 題 「旅の人のモダンズム」- 林忠正から吉田鉄郎まで - (仮)
・日 時 12月18日(土) 午後2時～3時30分
- いずれも、
・会 場 高岡市立博物館3階講堂
・定 員 当日先着80名(事前申込不要)
・参加費 無料

○特別講演会

- ・日 時 平成22年9月25日(土) 午後2時～3時30分
- ・演 題 「二上射水神社文書から見えること」
- ・講 師 佐伯 安一氏(高岡市文化財審議会委員)
- ・会 場 当館3階講堂
- ・定 員 当日先着80名(事前申込不要)
- ・参加費 無料



— 開館時間 —
午前9時～午後5時
(入館は4時30分まで)

— 休館日 —
毎週月曜日
(月曜日が祝・休日の場合はその翌平日)
年末年始
(12月29日～1月3日)

— 交通 —
JR高岡駅より徒歩15分

— 入館無料 —